沖縄県道 104 号線越え実弾射撃訓練の分散・実施に伴い現地連絡本部を設置

令和元年７月１５日(月)、当局は、王城寺原演習場における米軍実弾射撃移転訓練の円滑かつ安全な実施や、地域住民の不安解消を図るため、王城寺原演習場内に「東北防衛局米軍実弾射撃移転訓練現地連絡本部」を設置しました。

開所に当たり、藤井真現地連絡本部長（企画部長）は、「訓練を安全に行うためのサポートとともに、住民の方の不安を解消するために、自治体の方にもしっかりと情報を伝えてまいりたい」とコメントしました。

現地連絡本部は、訓練終了後、米軍が撤収する８月９日（金）（予定）まで設置し、２４時間体制で職員２０～３０数名程度を交代で配置し、米軍・自衛隊等との連絡調整、関係自治体等への情報提供、演習場周辺の巡回警備等を行い、訓練の円滑かつ安全な実施と地域住民の不安の解消に努めることとしております。

【現地連絡本部の主な業務内容】

１　米軍及び関係機関等との連絡調整
２　米軍への物品・役務の調達支援等
３　米軍外出時の案内・同行
４　演習場周辺地域の巡回警備等

【問い合わせ先】
東北防衛局　現地連絡本部
電話　０２２９－６５－２７２１

看板設置完了し、現地連絡本部が開所

現地連絡本部開所後、報道機関からのインタビュー

現地連絡本部内の撮影を行う報道機関